

2025.1.7

## グリーン物流優良事業者表彰にて 最高位である国土交通大臣表彰を共同受賞 ～異業種連携による持続可能な物流体制の構築と CO<sub>2</sub> 排出量削減～

アース製薬株式会社（代表取締役社長 CEO：川端克宜）は、大塚倉庫株式会社（代表取締役社長：濱長一彦）、加藤産業株式会社（代表取締役社長執行役員：加藤和弥）、岐阜プラスチック工業株式会社（代表取締役社長：大松栄太）、株式会社久原本家グループ本社（代表取締役社長：河邊哲司）、株式会社 J-オイルミルズ（代表取締役社長執行役員 CEO：佐藤達也）、鈴与株式会社（代表取締役社長：鈴木健一郎）、太陽化学株式会社（代表取締役社長：山崎長宏）、株式会社 Mizkan Logitec（代表取締役社長：古澤朗）、ライオン株式会社（代表取締役兼社長執行役員：竹森征之）、株式会社ロジパルエクスプレス（代表取締役社長：山本泰治）の 10 社（五十音順・アース製薬含め計 11 社）とともに、2024 年 12 月 23 日（月）、砂防会館（東京都千代田区）にて開催された「令和 6 年度 グリーン物流パートナーシップ会議物流パートナーシップ優良事業者表彰」にて、最高位となる国土交通大臣表彰を共同受賞しました。

物流業界では、乗務員の労働時間規制強化（2024 年問題）や環境負荷軽減が喫緊の課題です。本取り組みは、日用品、飲料、食品、原料素材、玩具、物流資材メーカーなどの異業種複数社と物流事業者が連携して、輸送モジュール化と混載輸送に取り組んだケース A、食品配送の効率化に取り組んだケース B（詳細は後述する「■受賞案件 概要」に記載）において、効率的な輸送方法を考案し、輸送車両や労働時間の削減、CO<sub>2</sub> 排出量の大幅な削減を実現しました。この取り組みが「持続可能な物流モデル」として高く評価されました。



(前列左から)

岐阜プラスチック工業株式会社（代表取締役社長：大松栄太）、大塚倉庫株式会社（常務取締役ロジスティクス本部長：溝内順一）、鈴与株式会社（取締役：松山典正）、国土交通大臣：中野洋昌、アース製薬株式会社（上席執行役員グローバル SCM 本部本部長 CSCO：山下健吾）、加藤産業株式会社（取締役常務執行役員 ロジスティクス本部長兼物流事業担当：日比啓介）

(後列左から)

株式会社 Mizkan Logitec（取締役：安居浩司）、太陽化学株式会社（執行役員コーポレート本部長：山崎長俊）、株式会社久原本家グループ本社（常務取締役：浅井宏円）、株式会社 J-オイルミルズ（執行役員 SCM 担当：畑谷一美）、株式会社ロジパルエクスプレス（執行役員事業本部第 2 統括部ゼネラルマネージャー：石井貞志）、ライオン株式会社（執行役員サプライチェーン企画本部長：南川圭）

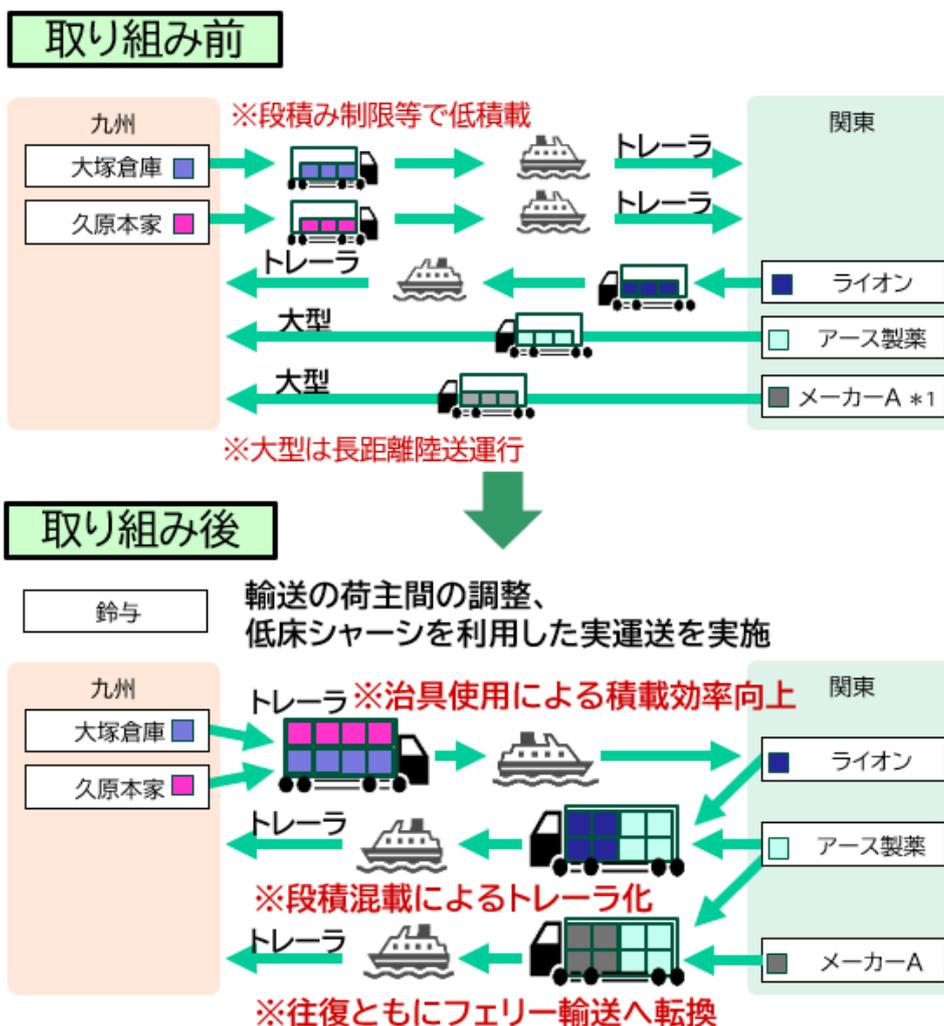
## ■受賞案件 概要

### ケース A-1: フェリーを活用した混載輸送

参画企業: アース製薬、大塚倉庫、岐阜プラスチック工業、久原本家グループ本社、ライオン、鈴与

内容: 九州～関東間の輸送で、複数企業がフェリーを活用して製品を混載輸送。パレットサイズや積み付け方法を標準化し、段積み用治具で2段積みを可能にすることで、車両台数を削減しました。また、出荷スケジュールの調整により安定的な運行を実現しました。

- 成果:
- ・CO<sub>2</sub>削減: 年間 31.2 トン (19.0%削減)
  - ・ドライバー拘束時間削減: 年間 250 時間 (15.4%削減)
  - ・車両台数削減: 年間 39 台 (28.9%削減)



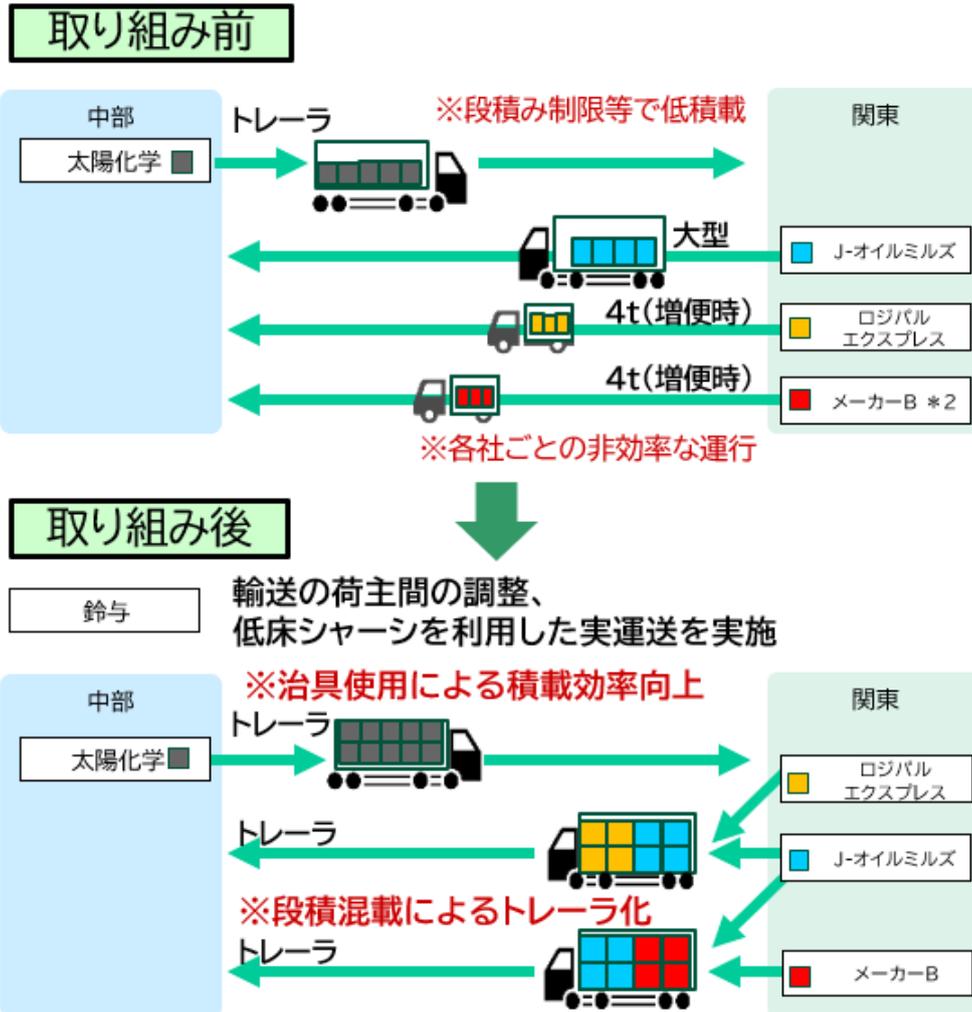
\*1 メーカーA は本取り組みには参加していますが、受賞対象には含まれていません。

## ケース A-2: 陸送での混載輸送

参画企業: 岐阜プラスチック工業、J-オイルミルズ、太陽化学、ロジパルエクスプレス、鈴与

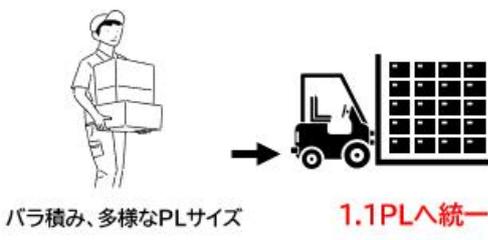
内容: 中部～関東間の輸送で、ケース A-1 と同様に荷物の段積み用治具を導入。パレットサイズや積み付け方法を標準化し、輸送効率を向上。出荷スケジュールを調整して定期往復輸送を実現しました。

- 成果:
- ・CO<sub>2</sub>削減: 年間 46.3 トン (23.2%削減)
  - ・ドライバー拘束時間削減: 年間 688 時間 (17.6%削減)
  - ・車両台数削減: 年間 171 台 (31.7%削減)



\* 2 メーカーB は本取り組みには参加していますが、受賞対象には含まれていません。

### 1.1mパレット統一によるモジュール化



### スリーブボックス(\*3)使用による段積み



\* 3 スリーブボックス…岐阜プラスチック工業株式会社が制作したパレット段積み用の治具

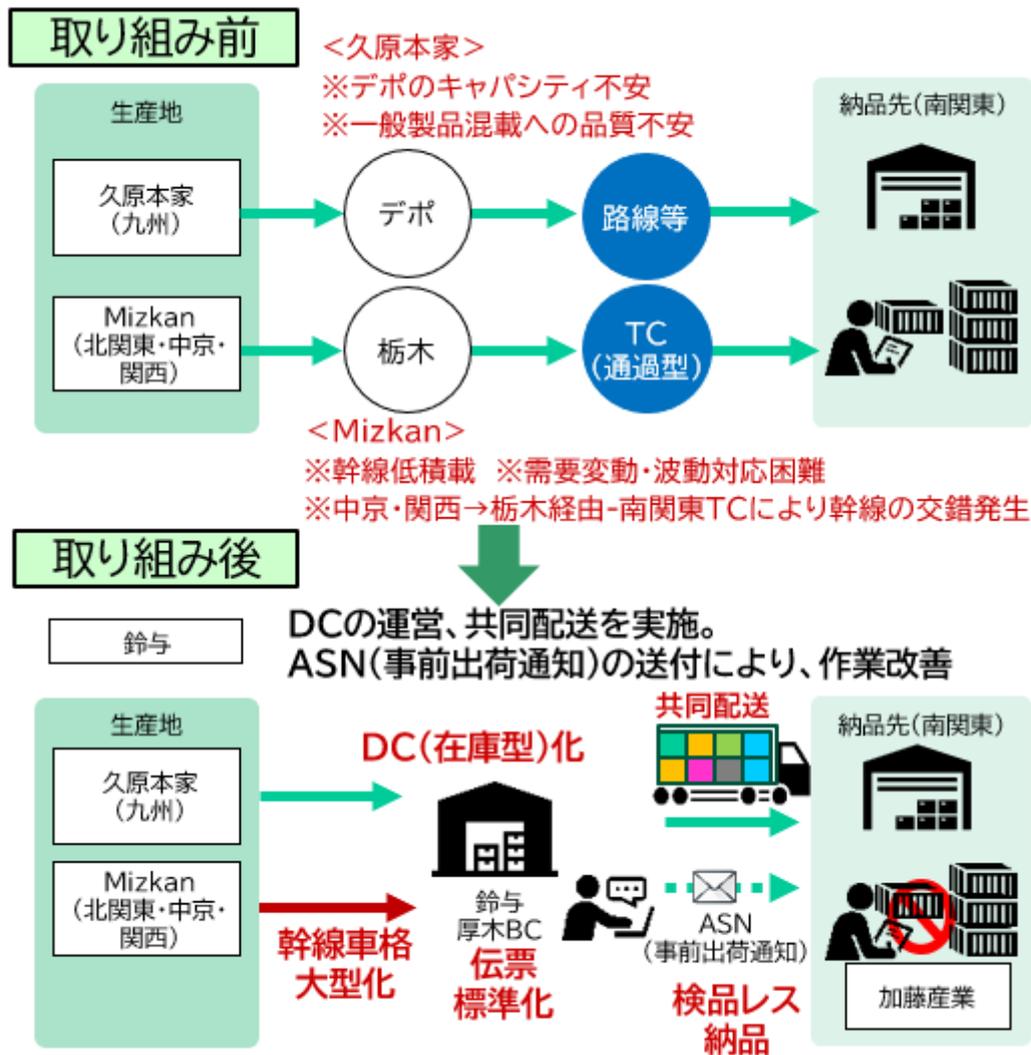
## ケースB: 食品配送の効率化

参画企業: 加藤産業、久原本家グループ本社、Mizkan Logitech、鈴与

内容: 神奈川県厚木市に食品専用の物流拠点 (DC) を設置し、各荷主企業から物流拠点 (DC) までの幹線輸送の効率化と、複数の食品メーカーによる共同配送を開始。食品専用車両を活用し、効率的な輸送を実現。事前出荷通知 (ASN) (\*4)により、納品作業を効率化し、ドライバーの拘束時間削減に貢献しました。

- 成果:
- ・CO<sub>2</sub>削減: 年間 538.1 トン (37.8%削減)
  - ・ドライバー拘束時間削減: 年間 10,916 時間 (27.9%削減)
  - ・車両台数削減: 年間 1,392 台 (26.9%削減)

\*4 事前出荷通知…納入業者から物流センターに事前に「発注番号」、「在庫数量」、「賞味期限」などの情報が通知される。物流センターでは商品が入庫する前に、検収予定の商品の把握が可能となるため、検品が簡略化され、物流センターでの作業軽減に繋がる。



### 本事業全体の成果

- ・CO<sub>2</sub>削減: 年間 615.6 トン (34.4%削減)
- ・ドライバー拘束時間削減: 年間 11,854 時間 (26.5%削減)
- ・車両台数削減: 年間 1,602 台 (27.3%削減)

#### ■アース製薬 受賞コメント

上席執行役員 グローバル SCM 本部 本部長 CSCO 山下 健吾

必要なモノを過不足なく適切なタイミングで供給し、平常時や災害時を問わず快適な生活環境や人々の命を守ることがサプライチェーンの使命です。地球環境や労働環境の変化に伴い、物流を維持していくためには個社レベルでの対応ではなく、同じ思いを持つ人や組織、会社が協力し協働していく事が重要です。

本取り組みは、製・配・販が同じ目的の元で一体となり、高い視座で解決策を思考し、それらを共に実行してみようという強い想いから始まったものです。今回の受賞は、ゴールではなくこの先の改善や改革促進への後押しだと認識しています。今後も社内外の多くの関係者の皆様とより一層連携を強化し、世の中に貢献していきます。

(参考) 国土交通省「令和 6 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者」ホームページ

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000845.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000845.html)

#### ～ 2025 年に設立 100 周年を迎えました ～

当社は、「<sup>いのち</sup>生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」という経営理念のもと、大阪難波で創業以来、人々の健康と快適な生活の実現に真摯に向き合ってきました。現在は東京都千代田区神田に本社を構え、兵庫県赤穂市には研究棟、坂越工場や赤穂工場があります。虫ケア用品の『ごきぶりホイホイ』『アースレッド』『アースノーマット』をはじめ、入浴剤の『バスロマン』『温泡』、オーラルケアの『モンダミン』など、時代の変化とともに様々な製品を、国内を問わず海外でも、アジアを中心とした世界約 50 の国や地域にお届けし続けています。今後もさらなるグローバル展開を加速させてまいります。

アース製薬はすべてのステークホルダーの皆さまに感謝し、次の 100 年、その先の未来に向けて、変化を厭わず、失敗を恐れず、果敢なチャレンジ精神で、これからも多くの人々の暮らしに寄り添ってまいります。

#### 【お問い合わせ窓口】

報道関係の方 : アース製薬株式会社 PR 戦略部

03-5207-7453

お客様 : アース製薬株式会社 お客様からお気づきを頂く窓口

0120-81-6456